

自閉症・情緒障害特別支援学級に関する内容

	ページ
☆ 自閉症の特性に応じた指導	37
☆ 自閉症・情緒障害特別支援学級の教育課程のポイント	37
☆ 自閉症・情緒障害特別支援学級の週日課（例）	38

☆…年度始めに見ておくとい資料

自閉症の特性に応じた指導

自閉症の定義

「自閉症とは、3歳位までに現れ、
①他人との社会的関係の形成の困難さ
②言葉の発達の遅れ ③興味や関心が狭く特定のものにこだわることを特徴とする行動の障害であり、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定される。」

自閉症の児童生徒は対人関係を中心として多面的な問題をもっているため、一人一人の教育目標も多様になります。例えば、日常の生活習慣を身に付けること、感覚機能や運動機能の調和的発達を図ること、対人関係を改善し、言語による理解と表出を促すことで生活意欲を高める指導が大切です。

詳しくは、静岡県教育委員会特別支援教育課ホームページ「自閉症の指導研究実践事例集」を見てください。

指導のポイント

- ①発達の状態や心理的状况、環境要因、認知特性など、多面的な実態把握
- ②心理的に安定できる学習集団(個別、小集団)や学習環境、教材・教具の設定
- ③学習環境の調整(整理された刺激の少ない環境、活動の見通しがもてる環境等)
- ④児童生徒の心の動きを十分理解し、カウンセリングマインドを生かした学習指導
- ⑤認知特性や得意な学習等、個々のよさを生かし、高める学習指導の工夫
- ⑥日常生活における具体的な課題を解決するための体験的な学習の工夫
- ⑦家庭での様子など、保護者や関係者からの情報収集及び情報の活用
- ⑧一人一人の実態に即した効果的な交流及び共同学習の工夫

自閉症・情緒障害学級の教育課程のポイント (週日課を作成する前に必ず読みましょう)

自閉症・情緒障害特別支援学級の教育課程は、原則的には小・中学校の学習指導要領が適用されますが、特別の教育課程を編成するときには、特別支援学校学習指導要領(知的障害関係)を参考にします。自閉症・情緒障害特別支援学級によっては、知的障害と重複している子どもが在籍している状況も見られますが、知的障害特別支援学級の教育課

程を参考にしながらも自閉症・情緒障害の子どもたちの特性を踏まえた教育課程を編成することが大切です。

自閉症・情緒障害に基づく種々の困難を改善・克服し、心身の調和的発達の基盤を培う「自立活動の指導」を重視します。

特別支援学級のハンドブック
P62 ページを見てください。



自閉症・情緒障害学級の週日課（例）

作成のポイント！

- ・学年ごとの日課表を作りましょう。
- ・知的な遅れがない児童生徒には、教科学習を確実に実施しましょう。
- ・その子の実態において、必要且つ妥当と認める場合は交流及び共同学習を実施します。
- ・交流及び共同学習に行く場合は、交流学級名を記入するとよいです。
(P48、49 参照)
- ・自立活動については、P37、45 を参考にしてください。

小学校

例（2年1人、6年2人）

	月		火		水		木		金	
	2年	6年	2年	6年	2年	6年	2年	6年	2年	6年
1	国語	国語	国語	国語	国語	国語	国語	国語	算数	算数
2	音楽 (2-1)	音楽 (6-1) 算数	国語	体育 (6-1) 家庭科 (6-2)	図画 工作※	図画 工作※	図画 工作※	図画 工作※	自立 活動	家庭科 (6-1) 体育 (6-2)
3	体育 (2-1)	理科	生活	総合	体育 (2-1)	社会	音楽 (2-1)	理科	生活	体育 (6-1) 音楽 (6-2)
4	算数	算数 音楽 (6-2)	生活	総合	算数	算数	国語	外国語 (6-1) 家庭科 (6-2)	算数	音楽 (6-1) 算数
5	学級 活動	学級 活動	算数	算数 体育 (6-2)	自立 活動	家庭科 (6-1) 体育 (6-2)	算数	算数	国語	国語
6					道徳	道徳		クラブ		社会

- ・白抜きの部分は交流及び共同学習として、交流学級において授業を受ける。
- ・月曜日の3時間目のように、低学年が交流及び共同学習を行う時間に理科の実験などを組むことで、安全に教育活動を行うことができる。
- ※ 図画工作の時間は、〇〇先生が指導を行う。